



たくさん遊びに来てくれてありがとう!

きくちグルメとこどもの日

元気ばい菊池!

in はくすい小学校

🐣 フォトリポート 🌸🌸

「きくちグルメとこどもの日 元気ばい菊池! in はくすい小学校」が5月5日、旧迫水小学校で開催され、旧校舎はたくさんの笑い声に包まれました。

昨年のこどもの日、熊本地震の影響で遊べなかった子どもたちに楽しんでもらおうと、菊池市災害支援ネットワークが主催。くまモンスライダーやスポーツチャンバラ、木工遊び、ミニ四駆、ボルダリング、ふれあい動物園、マルシェのコーナーが用意され、大勢の親子連れでにぎわいました。



1. 校庭にはさまざまなグルメショップが並びました 2. にぎわう体育館 3.5. ミニ四駆のスピードに大興奮 4. かわいい芸術作品がいっぱいできました 6.8. 首飾りやキーホルダーなどのワークショップも開催 7. 投げ輪にも挑戦 9.10. 壁をよじ登るスポーツ「ボルダリング」。上手に上まで登っていました



ボルダリング
チャレンジスタンプ
30分/200円
他の人のあつこもよく楽しんで
楽しく安全に遊んでね!

4月30日 わいふ一番館
松村よしひろチャリティーコンサート

泗水町出身のシンガーソングライター松村よしひろさんのチャリティーコンサートがわいふ一番館であり、約50人の市民が生歌を楽しみました。同館では松村さんの父、洋一さんが写真展を開催中で「菊池のために何かしたい」と息子から相談を受けて企画を発案。洋一さんは「たくさんの人に来てもらいたい。少しでも復興の役に立てれば」と語り、募金を募っていました。



弾き語りを披露する松村さん

4月25日 リコーダー贈呈式
(株)KIYORA きくちがリコーダーを贈呈

(株)KIYORA きくちから市内の小学校にリコーダーが贈られ、市役所で贈呈式がありました。音楽家の松本俊明さんが手掛けた絵本「見えない羽根」のイラストを商品のパッケージにあしらい、売り上げに応じてリコーダーを贈る仕組みで、今回は429本が贈られました。大神志保子社長は「音楽を通して子どもたちに笑顔を届けたい。児童と松本さんの合奏も実現したい」と話しました。



左から江頭実市長、大神社長、永田文字副社長

5月10日 菊池市第3セクター連絡協議会
小学校へ図書カードを寄贈

市内の道の駅や温泉施設などの5施設6団体で構成する菊池市第3セクター連絡協議会(山下和貴会長)から、市内の小学校へ243枚121,500円分の図書カードが贈られました。これは第3セクター施設が集めたレシート総額の0.1%を還元する「本を贈ろう運動」によるもので、今年で8回目。山下会長は「今後も活動を続け、子どもたちの健全育成に貢献したい」と述べました。



山下会長から菊池小学校永知恵美校長に図書カードが贈られました

5月8日 菊池武光公騎馬像
彫刻家の中村晋也さんが菊池を訪問

平成4年に市民広場の菊池武光公騎馬像を制作した彫刻家の中村晋也さんが、地震後の銅像を確認するため本市を訪れました。中村さんは平成19年に文化勲章を受章。鹿児島を拠点に91歳の現在も精力的に制作活動を続けており、崇城大学の名誉学長も務めています。中村さんは「市民が菊池一族を尊敬しているからこそ、長い時間が経っても銅像は光を放っています」と話しました。



銅像を制作した中村さん(左から3番目)

5月13日 2017 きくちホタルフェスタ in 旭志
ホタルとグルメとステージを満喫

2017 きくちホタルフェスタ in 旭志が、道の駅旭志ふれあいセンターで開催されました。昨年は熊本地震の影響で中止となったため開催は2年ぶり。旭志小児童の合唱やダンスなどのステージイベントのほか、旭志牛を使った料理やご当地アイスなど地元のグルメが並びました。豪華景品が当たる抽選会には地元のゆるキャラ「きくちくん」が登場。大勢の来場者でにぎわいました。



恒例のホタルセレナーデ総踊りでフィナーレを飾りました

5月11日 第6回全農「酪農の夢」出張授業
菊池農高で女性酪農家が出張授業

菊池農業高校で第6回全農「酪農の夢」出張授業が開かれ、畜産科学科の全学年の生徒119人が参加しました。この取り組みは全国農業協同組合連合会(JA全農)酪農部と日本コカ・コーラ(株)の共催で、酪農の次世代育成を目的に全国各地で行われています。授業では、現役の女性酪農家が酪農の魅力や、やりがいについて講演したほか、日本酪農の現状について学びました。



女性酪農家の講演

5月26日 独立行政法人国際協力機構 (JICA)
佐藤千博さんが活動を報告

JICAのシニア海外ボランティアとして南アフリカ共和国に派遣された佐藤千博さん(藤田)が、2年の任期を終え帰国しました。佐藤さんは65歳で着任。長年培った経験やスキルを生かし、現地の職業訓練校では建築に係る製図や実習を指導しました。

佐藤さんは「考えるより行動、自分から出て行き、やってみることが大切。そうすれば必ず得るものがある」と語りました。



左から江頭実市長、佐藤さん

5月29日 田島武道館
全国・九州大会でも優勝目指します

第35回熊本県少年・少女空手道練成大会兼第17回全日本少年・少女空手道選手権大会予選で優秀な成績を収め、全国大会や九州大会への出場を決めた田島武道館(中島晋介監督)の選手が市役所を訪問しました。出場選手は次のとおりです。(敬称略)

宮本晨(泗水小5年)、中村緋彩(泗水小5年)、岩下元大(泗水西小4年)、泉田憧哉(泗水西小3年)、澤田匠平(泗水西小3年)



田島武道館の皆さんと江頭市長

6月3日 社会福祉法人泗水東保育園
新園舎の完成をみんなで祝いました

泗水東保育園(島村正明園長)の新園舎落成式があり、地域住民や関係者など約100人が参加しました。式では工事関係者に感謝状が贈られたほか、落成記念樹の紹介やひまわり組園児による和太鼓披露などを行い新園舎完成を祝いました。同保育園は、昭和37年に泗水東小学校区の住民によって設立された地域立の保育園で、旧園舎は昭和49年に竣工。43年ぶりに建て替えられました。



落成式で和太鼓を披露する園児たち

5月25日 行政相談委員
青木征輔さんと森保士さんに感謝状贈呈

長年、行政相談委員を務めた青木征輔さん(上高江)と森保士さん(津留)に総務大臣から感謝状が贈られ、総務省熊本行政評価事務所長から感謝状が伝達されました。

青木さんと森さんは、平成17年から12年間、行政相談委員として国や県、市などに対する苦情や要望の解決に尽力。住民と行政とのパイプ役として地域に貢献しました。



㊦青木さん、㊦森さん

5月29日 オレンジセーフティネットプレトライアル
認知症不明者をアプリで検索

認知症高齢者などの行方不明者全国検索協力ネットワーク(オレンジセーフティネット)の構築を目指す全国キャラバン・メイト連絡協議会が、本市と山鹿市でスマートフォンのアプリを活用したオレンジセーフティネットのプレトライアル(モデル試行)を実施しました。実際にアプリを使用し、行方不明者の検索訓練を実施。その後アプリの有効性などについて意見交換を行いました。



市や県、福祉関係者などが多数参加しました

5月30日 社会福祉法人紫翠会 救護施設菊池園
救護施設菊池園が落成式

救護施設菊池園が建て替えられ、落成式が行われました。菊池園は昭和47年に創立。老朽化により、約3年前から建て替えの準備を進めていました。熊本地震の経験から、福祉の避難所として使用できる交流所を設置。地域の人も自由に使えるようになっています。川口陸奥勇理事長は「防災機能を強化し、入所者の居住性も向上した。園と地域のつながりが深まれば」と期待を寄せました。



新築された救護施設「菊池園」

5月14日 出分区災害図上演習
災害に備えて

出分区公民館で災害図上演習(DIG)を実施。区民や関係者など15人が参加しました。演習では始めに防災士から防災マップ作りについて説明があり、その後上組と下組の2班に分かれ区内を歩いて調査。危険箇所や消火栓、地震時の避難場所などを調べて回りました。参加した区民は「歩いて調べてみると、ブロック塀など危険なところが意外と多いことに気づいた」と振り返りました。



危険箇所などを地図に書き込む参加者

5月19日 春の叙勲
東眞哉さんが旭日双光章を受章

元菊池市議会議員の東眞哉さん(北原)が旭日双光章を受章し、報告のため市役所を訪れました。東さんは菊池市議会議員を4期15年10カ月務め、建設常任委員会委員長や経済常任委員会委員長などを歴任。市政の発展と市民福祉の向上に大きく貢献しました。東さんは「皆さんのおかげで、素晴らしい勲章をいただいた。今後も健康に注意し、地域のために頑張りたい」と語りました。



受章した東さん

5月22日 ジュスカグランパルー夜の情熱祭
情熱の音楽に酔いしれました

アコースティックギターとバイオリンのデュオ、ジュスカ・グランパールのコンサートが限府の飲食店であり、約50人がプロの演奏に酔いしれました。CMソングなども手掛ける演奏家で、聞き慣れたメロディーが流れると観客も大興奮。熊本のクラシックユニット、アンサンブルルーエと共に、テンポの速い曲やスローな曲を卓越した演奏で披露し、観客を魅了しました。



アンコールでアンサンブルルーエとコラボするジュスカ・グランパールの二人

5月14日・20日・21日 きくち観光物産館
大好評!!スイートコーン収穫体験会

新品種のスイートコーン「ドルチェドリーム」の収穫体験会を開催しました。体験会には市内外から約80人が参加。収穫体験のほか、多品種との食べ比べや〇×ゲームなどを楽しみました。ドルチェドリームは、全国でも栽培が少なく糖度が20度を超えることもあります。同物産館では、1カ月に2万本を取り扱う人気商品になっており、新たな観光資源として期待されています。



収穫体験に参加した子どもたち

5月19日 春の叙勲
森田精一さんが旭日双光章を受章

元菊池市議会議員の森田精一さん(遊蛇口)が旭日双光章を受章し、報告のため市役所を訪れました。森田さんは菊池市議会議員を6期21年2カ月務め、議長や総務常任委員会委員長などを歴任。市政の発展と市民福祉の向上に大きく貢献しました。森田さんは「周りの支援と協力のおかげで受章できた。今後も地域振興のため、自分のできることを協力していきたい」と抱負を述べました。



受章した森田さん

5月19日 きくち観光物産館
唐辛子の契約栽培にチャレンジ

きくち観光物産館では、小規模で軽作業の唐辛子の契約栽培を実施しています。収穫物は物産館で取りまとめ、自然食品会社に全量販売しています。定期的に生産者と現地検討会を開催しており、今回は生育状況の確認や梅雨対策などについて協議しました。この取り組みは収益面だけでなく、退職後の気兼ねな就農や高齢者の生きがい支援としての役割も果たしています。



生育状況を確認する生産者たち